

ゴエンズ presents 灯台ビジネス塾 in名古屋 (第一期)

このコロナ禍において社会・経済・経営環境はますます厳しくなっています。そんな中でも明かりを灯し、先を走っている経営者や企業人がいます。この度、講演コンシェルジュ要する株式会社ゴエンズがこれまでの経験を活かして、モチベーションを上げ、より前向きに仕事や人生に取り組めるように、各業界のプロフェッショナルを講師とするビジネス塾を開催します。そして講演を聞くだけでなく各回に座談会（交流会）を設けます。人と人を繋ぎ、会社と会社を繋ぎます。講師への質問はもちろん、受講者同志で繋がりも深めることができます。

中小企業の経営者はもちろん、更なる高みを目指している会社員・ビジネスマンの方々、この機会に知識や繋がりを広げてみませんか。

【日程】 2021年 4月～8月土曜日（月1回）

【回数】 5回

【時間】 講演会 13:30～15:00（90分）

座談会（交流会） 15:15～16:15（60分）※講師の参加は未定です。

【定員】 9～17名（最小開催人数 9名）

【料金】 ¥120,000 -（税別）

【会場】 名古屋市内 <ウィングあいち会議室（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）orプレストーク会議室（名古屋市中区栄2丁目2-17名古屋情報センタービル1Fを予定）>

【受付】 2021年 1月12日（月）～3月12日（金） ※3月15日（月）に開催判断

【オブザーバー参加】 各回0～8名まで 1回¥30,000-（税別）※申し込み状況により判断します。開催決定後3月16日（火）より受付します。

【講師候補】（敬称略）

■佐藤勝人氏（日本販売促進研究所代表取締役社長・サトーカメラ株式会社代表取締役副社長）【商売・生存、成長戦略】

■齊藤正明氏（マグロ船式人材コンサルタント・株式会社ネクストスタンダード代表取締役社長）【メンタル・逆境】

■平田進也氏（株式会社日本旅行西日本営業本部担当部長・株式会社日本旅行西日本『おもしろ旅企画 ヒラタ屋』代表・ナニワのカリスマ添乗員）【サービス・営業】

■夏川立也氏（コミュニケーションプロデューサー・笑いと空気の力で業績アップの請負人・パワーコミュニケーション主宰）【笑い・コミュニケーション】

■中里良一氏（有限会社 中里スプリング製作所代表取締役）【町工場・発想の転換・二代目】

【その他】 最小開催人数に達しない場合は開催を致しませんので予めご了承ください。 ※3月15日（月）に開催判断

新型コロナウィルスが蔓延している場合は、リモートでの開催の場合もございます。

入金以降のキャンセル・返金は出来かねますので予めご注意ください。

【参加特典】 各回講演会終了後に座談会（交流会）を開催して、簡単な復習を踏まえて参加者や講師（可能な場合）との交流を行います。

SNS（フェイスブックを予定）にて参加者同士のネットワークを構築します。（希望者のみ）

終了後に弊社コンサルティング3回分のうち1回分を無料で受けることができます。【月1回120分 通常¥30,000-（税・交通費別）】 ¥90,000-⇒¥60,000-（税・交通費別）

【主催】 株式会社ゴエンズ 【お問合せ・お申込み】 株式会社ゴエンズ 担当中島まで メール：naka@goens.info メールでのお申し込み後、振込先などご連絡をさせていただきます。



■佐藤勝人（日本販売促進研究所代表取締役社長・サトーカメラ株式会社代表取締役副社長）
講演テーマ：「コロナ禍における中小企業の生き残り戦略」～攻めと守り、コロナ後を見据えて～

【第一回 4月17日（土）予定】

1964年生まれ 栃木県宇都宮市生まれ。1988年23歳で家業のカメラ専門店を、大型専門店で業態を変え、社員ゼロからスタート。北関東家電安売戦争で有名な地元栃木で県内カメラ販売シェア12年連続NO1を達成中。個性豊かなアソシエイト150名を引っ張りサトーカメラ・スーパーカメラセンター・サトカメmini・サトカメスタジオ・サトカメフォトショップと18店舗にまで成長させ、業界売上12年連続北関東甲信越No.1も達成中。日本で初めて販売促進を通じた「経営者の考え＝社員＝店＝商品＝お客様」をつなげ体系化した。現場叩き上げにして二足のわらじを履く現在進行形の実戦派経営コンサルタントとしても活躍中。2000年 経営コンサルティング会社「日本販売促進研究所」設立、代表取締役兼経営コンサルタントを務める。2003年 ACC CMフェスティバルラジオスポットCM部門でファイナリストに選出される。2004年 サトーカメラ株式会社代表取締役専務、現在に至る。現在は、オンラインでのカメラ販売や接客業務、オンラインZOOMセミナーやオンラインでのコンサルでも活躍中。2020年上半年EC事業部売上昨対700%増、法人営業200%増を達成！



■齊藤正明（マグロ船式人材コンサルタント・株式会社ネクストスタンダード 代表取締役社長）
講演テーマ：「コロナ時代だからこそ活かせる！マグロ船で学んだ！楽しく働き成果を上げる仕事術」

【第二回 5月22日（土）予定】

2000年 北里大学水産学部卒業。バイオ系企業の研究部門に配属。勤務先では、所長の無理な命令のため、スタッフは体調を崩したりなどし、業績も雰囲気も低迷していた。ある日、齊藤自身もまた、理不尽な業務命令により、マグロ船に乗せられる。しかし意外にも、狭いからこそ仲良く助け合う漁師たちの姿に感銘を受ける。帰港後、漁師流のコミュニケーションを社内に取り入れた結果、社風改善に成功する。2007年 退職し、人材コンサルタントとして起業。マグロ船式の人材育成で企業の業績向上に貢献する。2011年 TSUTAYAが主催する、『第2回 講師オーディション』でグランプリを受賞。全国のTSUTAYAにて、講演DVDがレンタル開始になる。2012年 年間200回以上の講演や人材育成の指導をこなし、日々、全国を飛び回る。



■平田進也（ナニワのカリスマ添乗員・株式会社日本旅行西日本『おもしろ旅企画 ヒラタ屋』代表）
講演テーマ：「心の壁を壊すコツ」～相手の懐に入り込む極意～

【第三回 6月26日（土）予定】

ナニワのカリスマ添乗員！！でおなじみ。学生時代からこれまでにテレビ出演600回以上。1980年、(株)日本旅行 入社。添乗員としての豊富な経験とおもしろトーク&変身芸を生かして「平田進也と行くツアー」は、発売するとすぐに売り切れるほど幅広い層のファンを持つ。お客様からの希望で誕生した旅行クラブ「進子ちゃん倶楽部」は、会員数22,000人を超える。日経新聞など多くのメディアにも取り上げられ、「ガイアの夜明け(テレビ東京)」「ディープピープル(NHK)」「とくダネテレビ!(フジテレビ)」「スーパーJチャンネル(テレビ朝日)」などにも出演。また、著書に、実体験に基づいたビジネス書『出る杭も5億稼げば打たれない!』、『旅行業界のカリスマ7億稼ぐ企画力』『カリスマ添乗員が教える 人を虜(とりこ)にする極意』などがある。2009年には、平田氏を中心とした新セクション「おもしろ旅企画ヒラタ屋」を立ち上げ、「ヒラタ屋ツアー」「オリジナルツアー商品開発」「地域おこし/社会貢献事業」「イベントや講演会の開催」の4つを展開。現在は、メディア出演、他業種とのコラボ、講演会など、旅だけでなく様々な元気を皆様にお届けするため活躍中！



■夏川立也（コミュニケーションプロデューサー・笑いと空気の力で業績アップの請負人・パワーコミュニケーション主宰）
講演テーマ：「ウィズコロナ時代のコミュニケーション」

【第四回 7月17日（土）予定】

京都大学在学中に、落語家の桂三枝師匠（現在の六代目桂文枝師匠）に弟子入り。卒業後、吉本興業の芸人として、TVドラマ・バラエティ・舞台・映画・ラジオのパーソナリティとして、芸能活動をスタート。その傍ら、自ら起業家として、株式会社を設立、経営者として20年間経済活動に取り組み、地域に根ざした企業を作り上げる。利害関係を越えた社会貢献活動にも取り組み、社団法人豊中青年会議所の第37代理事長も務める。お笑いタレント・起業・ビジネス・社会貢献、これらの経験から、楽しい空間の周囲には人は集まり、その集団はポジティブであることに注目。周囲を楽しい気分（前向きな感情）にすることの重要性に心理学的アプローチ、脳内プロセスの構築を加えて“実践理論 パワー・コミュニケーション術”を開発。現在は“笑い”の働きかけを通じ、社内・対顧客コミュニケーション環境を改善し、あらゆるモチベーションのコントロールを通じた成果を求める様々なオファーに応えるべく、全国各地で年間200回を超える講演・研修会を開催中。



■中里良一（有限会社中里スプリング製作所 代表取締役）
講演テーマ：「町工場経営のプラス思考必勝発想法」

【第五回 8月7日（土）予定】

革新的な経営に取り組み、バネに特化した『日本一の町工場』を目指す経営者。34歳で2代目社長となる。これまでの下請けから脱却するため、町工場が本来もっていた機能を回復させ、社員に夢を持ってもらえるよう、様々な社内改革を実施。『日本一楽しい会社』として注目を集めている。1952年 群馬県生まれ。1974年 立正大学経営学部経営学科を卒業。東京の商社に入社。新規取引開拓を重点とした営業職を担当。1976年 父が経営していたバネメーカー(有)中里スプリング製作所入社。1985年 同社代表取締役社長に就任。同社は、現在、「群馬県1社1技術企業」「群馬県IT推進モデル企業」に認定されている。その型破りな経営方法が各地で話題を呼び、新聞、雑誌やテレビ等多くのメディアにも取り上げられる。1997年・2007年の2度に亘り、中小企業白書の事例で紹介されている。また、2009年「元気なモノ作り中小企業300社」に選定される。